

# 令和5年度 北九州市立すがお小学校・学校経営方針

## <学校経営方針>

\*学校は未来を担う子どもたちのためにある

★「チームすがお」…強固な組織で

全職員で、知恵を出し合い、子どもたちの健やかな成長と諸問題の解決に向けて、協働性・同僚性・創造性を発揮し、地域や保護者に信頼され期待される学校づくりに取り組んでいきたい。

## 学校教育目標

**す 健やかな体と が 学力を身に付け お 思いやりの心あふれる**  
子どもの育成

## めざす教職員像

◎子どもに深い愛情を持ち、子どもの可能性を信じ、常に向上心に努める教職員集団

- ★子どものよさを見抜く教師
- ★日々の授業を地道に大切にしている教師
- ★命の大切さを伝える教師
- ★子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教師
- ★子どもと共に汗や涙を流し、共に感じ、共に歓べる教師

## めざす学校像

◎児童と教職員がともに、わくわくしながら笑顔で生き生きと学び合うことのできる学校

- ★子どもにとって 「行きたい学校」
- ★保護者にとって 「行かせたい学校」
- ★職員にとって 「働きたい学校」
- ★地域にとって 「行ってみたい学校」

## めざす子ども像

- す** すすんで体を鍛える子ども
- が** 学習に主体的に取り組む子ども
- お** 思いやりの心をもつ子ども

令和元年度～5年度

## 第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン

### 1 時代を切り拓く力の育成

- 1 確かな学力の育成
- ① 学びチャレンジリーディングスクール <1年次>
- ※主題を  
生活科・総合的な学習の時間として
- ② PDCAサイクルに基づいた学校評価の実施と組織的、継続的な改善
- ③ 学力の向上
- ・全国学力学習状況調査、北九州学力状況調査、CRTの結果を分析し、スクールプランの策定、実施、検証、改善に努める。
- ④ 学校における読書活動の推進

- 2 健やかな体の育成
- ① 体力の向上
- ・体力テストの結果から課題を見出し、運動量の豊富な体育科学習
- ② 学校における食育の推進
- ③ スポーツに親しむ機会の充実
- ・アップアップタイム
- ④ 健康管理…コロナ対応の継続  
フッ化物洗口の取組 2年目

- 3 豊かな心の育成
- ① 道徳教育・文化芸術に触れる機会の充実
- ・考え、議論する道徳
  - ・北九州道徳郷土資料、環境首都検定等を活用した道徳の授業
- ② 人権教育の推進
- ・管生中校区人権研/徳力人権研  
中学校区における人権教育の推進
  - ・新版いのち、北九州子どもつながりプログラム等の積極的な活用

- 4 特別支援教育の推進
- ※特別支援を要する児童に関する適切な指導や必要な支援を行う。
- ① 関係機関との連携
- ・相談支援へつなぐ (SC・SSW 等)
- ② 特別支援教育を推進する体制の充実
- ・特別支援教育の充実に関する研修

### 2 働きがいのある学校づくり

- 5 大量退職・採用時代における教員の資質向上
- ① 人材の育成・資質の向上
- ・校内研修の充実
  - ※主題研究・若年研の工夫
- ② 女性活躍推進

- 6 学校における業務改善の推進
- ① 業務改善の推進
- ・働き方改革を継続
  - …業務の効率化
  - ・新校務支援Sの有効活用
  - ・スクールサポートスタッフとの連携
  - ・会議の精選、
  - ・定時退校の推進
  - ・働きやすい環境づくり

- 【身に付けさせたい生活習慣・学習規律】
- ① チャイムがなったら着席 (時間を守る)
- ② 自分の回りを整理整頓 (整理)
- ③ あいさつをすすんでする
- ④ 名札の着用
- ⑤ 落ち着いて行動する/やさしい言葉遣い
- ⑥ 掃除はだまってしっかりする (黙働)

◆SDGsの視点を踏まえた教育の充実  
「誰一人取り残さない」

- ◆ 公務員は全体の奉仕者である。保護者や市民に対して誠実な対応に努める。
  - ・来校者への温かいマナー (挨拶・対応)
  - ・コロナ禍における公務員としての自覚
  - ・電話の対応…「すがお小学校の〇〇です。」→アカウントビリティー (説明責任と信頼関係)
- ◆ 外部からの電話等による児童の呼び出しや照会には原則として応じない。
  - ※迷ったら管理職 (校長) に報告。
- ◆ ワーク・ライフ・バランス…健康管理, 仕事以外の時間の充実, 家族との時間の充実

### 3 安心な学びの場づくり

- 7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応
- ① 長期欠席 (不登校) への対策
- ② いじめ問題への対応
- ・生徒指導に関する情報共有
  - ・「ほう・れん・そう・かく」報告・連絡・相談・記録
  - ・危機管理の「サシセソ」
  - 最悪、慎重、素早、誠実、組織
- ③ 専門人材の配置・活用

- 8 児童等の安全確保
- ① 防災・安全教育の推進
- ・危機管理の「サシセソ」
- ② 重篤な事故の防止
- ・児童のけがについては必ず報告
  - ・スクールヘルパー等と連携した安全指導や事故防止に関する取組
- ③ 食物アレルギー事故及び感染症等の防止

### 4 市民総ぐるみでの支援

- 9 家庭・地域・学校の連携
- ① 家庭・PTAとの連携
- ② 地域との連携
- ※地域のよさを生かした総合的な学習の時間・生活科の学習活動の創造
  - ◆ふるさと教育の推進
    - ・畑の活用
    - ・ヘルパー/地域の方への感謝の気持ちの醸成
    - ・両谷市民Cの協力
    - ・スクールヘルパーとの連携

- 10 社会的・経済的な課題への対応
- ① 子どもの貧困などの経済的な課題の対応
- ② 社会的な課題への対応

### 5 未来を見据えた環境整備

- 11 教育環境の整備
- ① 教育の情報化の推進
- ・GIGA 端末の有効活用 … 全児童1人1台
  - ※デジタルドリルの導入 (スマイルネクストドリル 2年目)
  - ・学校からの情報発信の強化 (学校通信・学年通信・保健だより・給食だより、HPなど)
  - ※オンラインを活用した情報発信 (tetoru テトル)

- 12 学校施設の整備
- ① 安全・安心で、快適な学校施設の整備